

茨城学習センターの歴代所長・客員教授等によるゼミ全 12 !

茨城学習センター所属学生であれば無料で受講できます。ゼミは年度ごとにお申込みが必要です（自動更新ではありません）。参加ご希望の方は、2階事務室受付窓口に設置してある「ゼミ申込書」にご記入のうえ、受付窓口へご提出ください。



NEW

テーマ『動物行動研究から探るヒトのこころの世界』

やまだ かずお  
山田 一夫

原則毎月第3土曜日  
9時30分～



**概要:** 日本動物心理学会監修で出版された「動物心理学入門」を購読し、ヒトと動物のこころの共通性や違いについて学び、ヒトのこころの本質について議論します。また動物を対象とした実験心理学的研究についても、その手法や最近の知見について紹介します。

**計画:** 日本動物心理学会監修「動物心理学入門」(有斐閣)を教科書として使用します。あらかじめ各節(例えば第1章は4節で構成されています)の担当者を決めておき、各ゼミでは担当者による発表と教員による解説、そして全員による議論を行います。

**メッセージ:** ペットであるイヌやネコに「こころ」があると思う人は多いと思いますが、では害虫であるゴキブリや蚊に「こころ」はあると思いますか？動物とヒトの行動における共通性と違いについて学んでいくことで、「人間とは何なのか」について考えてみましょう。

テーマ『R.Carson : The Sea Around Us.を読む』

あさの よういち  
朝野 洋一

原則月2回 第2・第4日曜日  
9時30分～



**概要:** 海洋は地球上の生命の故郷であり、その豊かな資源は今日まで人類を始め多くの生物の命を支えてきた。しかし、近年はプラスチック廃棄物による汚染が大きな問題となっており、マイクロプラスチックの海洋生物への影響は深刻である。さらに水産資源量の減少、温暖化に伴う海面上昇や海流の変動、原子力発電所からの放射性廃棄物放出など問題が多い。広大な面積と膨大な水量を有し、総てを飲み込んでくれるように思える海洋だが、限界が見えてきた。持続可能な開発目標の一つである海洋についての理解を深めたい。

**計画:** テキストは2018年刊行のOxford UP版を使用。1951年の初版に著者注を加えた1961年版を基にしているため、その後著しく発展した生物・地球・海洋諸科学の知見を参照しながら読む必要がある。日本語訳(「われらをめぐる海」早川ノンフィクション文庫)もあるが、原文を丁寧に読むことを心掛ける。

テーマ『果実や野菜の生産や利用について考えよう』

いのうえ えいいち  
井上 栄一

原則毎月第4土曜日  
9時30分～



**概要:** 果実や野菜は青果物とも呼ばれ、副食性の食品として我々の健康維持に欠かせない農産物です。果実や野菜は種類や品種が多く、その生産や利用には地域性があるため、農業活性化のみならず地域振興のためにも重要な品目となっています。本ゼミでは身近な果実や野菜の生産や利用について、あらためて調査し学習することによって知識を深めることを目的としています。

**計画:** 果物や野菜について、品目ごとに複数回(2~3回程度)に渡って深く学んでいきます。まず教員から対象とする品目の栽培や利用の基礎や現状について話題提供します。次に栽培や利用における地域による特徴や時代的な変遷について、参加者が集めた情報を共有し議論したいと思います。情報収集の一環として、見学も積極的に取り入れたいと考えています。

**メッセージ:** 身近な果実や野菜を取りあげて、色々な角度からあらためて深く考えて意見交換するゼミです。ぜひ気軽にご参加いただければと思います

テーマ『老舗から水戸の商工業の変遷をたどる』 おの であら あつし 小野寺 淳 原則毎月第3水曜日 15時～



**概要:** 旧城下町水戸には、現在でも多くの老舗が残ります。老舗の業態の変化を聞き取りと資史資料・地図から明らかにしていきます。江戸時代から近現代における水戸の商業や伝統工芸などの変化をたどります。ゼミの皆さんとともに、城下町水戸の再活性化を考える上での基礎データを作成し、議論しましょう。

**計画:** 聞き取りを中心とするフィールドワーク、翌月にはそのとりまとめと発表、そしてディスカッションをします。

**メッセージ:** 何代にもわたって引き継がれてきた老舗、様々なご苦労があったと思います。そうしたご苦労に学びながら、これからを考えていきましょう。

テーマ『ドイツ文学をやさしく読んでみる』

さとう かずお 佐藤 和夫 原則毎月第2木曜日 13時30分～  
(8月休講、6・7・12・1. 2月オンライン開催)



**概要:** 前半は文法を中心として初級の練習問題を全員で検討します。今年度は新しいテキストを用いて最初歩から出発します。後半は近代から現代のドイツ文学作品をやさしく書き改めたテキストを講読していきます。上記テキストは短編ですので、第1学期中の読了を見込んでいます。

**計画:** テキストは、

前半 : Deutsch Intensiv Grammatik A1, (Klett)

後半 : A. Stifter, "Bergkristall", (Hueber) CEFR A2 です。

**メッセージ:** 「急がず休まず」(ゲーテの言葉)歩みを進めていきましょう。

前半は新たにスタートします！

Renewal

テーマ『統計学ゼミ』

しおみ まさえ 塩見 正衛 原則毎月第3日曜日  
10時～ オンライン開催



**概要:** 従来の「実用統計学ゼミ」と「初歩の統計学ゼミ」を統合し、2024年4月より「統計学ゼミ」として新たにスタートします！

**計画:** (1)秋光淳生著「改訂版 データの分析と知識発見」(放送大学印刷教材 2024年改訂)のテキストを元に勉強します。(テキストは各自ご準備ください)。

(2)毎月1回のゼミで、ゼミ生が交替で毎回の内容を説明し、質疑応答により内容の充実を図ります。

**メッセージ:** 秋光淳生先生のテキストは2024年に改訂され、2024年4月から新しく開始されます。内容は多岐にわたり、幅広く統計学を学ぶことが出来ますので、初心者の方々をはじめ、中級以上の方々にもご参加していただける内容です。

テーマ『やさしい英会話教室』

しらいし まさたけ 白石 昌武 原則毎月第2または第3土曜日  
10時～ オンライン開催



**概要:** 中学校から英語を学んでいるが英語を話せない。文法を気にし過ぎ、中々言葉として出せない。そこで文法などを気にせず、出来るだけ易しい単語を用いて口に出すことから始めよう。例えば: When did you get up this morning ? (今朝何時に起きましたか?) I got up at seven. (7時です) のように昔学んだ易しい単語を用い、文章を口に出して他の人に伝える、これが基本です。

**計画:** しばしば用いられる英語フレーズに基づき、知っている単語を使って短時間で自由に文章を作成し発表する。それについて参加者が英語で自由に質問する。

**メッセージ:** 参加者は50歳から70歳過ぎの方々5～6人で、和気あいあいと楽しくやっています。どなたでもお気軽にどうぞ。

## テーマ『日本の医療史』

たきざわ としゆき  
瀧澤 利行 原則毎月第1または第2土曜日10時～



**概要:** 現代日本の医学は、世界でも最先端の進歩を遂げていますが、ここまでの発展をみるまでには、中国医学、オランダ医学、イギリス医学、ドイツ医学、そしてアメリカの医学など世界のさまざまな医療文化と医学の影響を受けてきました。このゼミでは、そんな日本の医学と医療の変遷をさまざまな角度からみていくことにします。

**計画:** 大きく分けて、江戸時代までの医学の流れと明治維新以降の医学の流れをみながら、前近代の日本人の身体や医学のとらえ方、オランダ医学の影響、明治維新以降のドイツ医学の影響、感染症と細菌学、結核と日本人、戦争と日本医学、アメリカの医学と戦後日本の医学、麻薬・覚せい剤と日本社会、脳死と臓器移植などを取り上げていきます。

**メッセージ:** 医療は私たちの身近な問題です。しかし、その医療の考え方や技術の一つひとつには人類の長い歴史が反映されています。医学と医療の歴史を知ることによって、自分たちが受けている医療の意味がより広く、深くできるようになると思います。少し難しい問題を取り扱いますが、興味があれば一緒に考えてみましょう。

## テーマ『近世の史料や古文書を読む』

ちば まゆみ  
千葉 真由美 原則毎月第2または第3木曜日9時30分～



**概要:** 江戸時代の村や町の史料を読みながら、当時の社会を学んでいきます。人々の努力や意識を、史料に書かれた語句や文章から丁寧に読み解き、またそれぞれが調べた内容を持ち寄って知識を深めたいと思います。

**計画:** 茨城県内にあった村や町を対象に、すでに活字として刊行されている史料の講読から始めます。くずし字の解読も初心者向けの古文書から始めていく予定です。

**メッセージ:** くずし字にも挑戦して、古文書解読を進めます。難しいと思うかもしれませんが、悩みながらも楽しんで学んでいきましょう。

## テーマ『情報通信・ネットワークの基本を知ろう』

はぶち ひろまさ  
羽瀨 裕真 原則毎月第2土曜日9時30分～



**概要:** 今やデータ・情報が世にあふれ、それらを活用する生成AIなどが取り上げられています。また、5Gがサービスインし、研究は6Gへと向かっています。それらは『デジタル』がキーになっています。このゼミでは新しい通信サービスを空想したり、簡単なプログラムを作成したり、話し合いながら『デジタル』の理解を深めます。

**計画:** 通信はスマホだけでなく、宇宙・地上・海中での通信も考えられたり、実装されたりしています。それらについて少しSF的に考えてみます。また、情報検索エンジン、ExcelやPythonの使い方から始め、簡単なプログラム作成などにより『デジタル』への理解を深めます。毎回のゼミでは、皆さんと意見交換しながら進めます。

**メッセージ:** 言葉は今を知り、未来を創造/想像できるキーです。通信やデータに関する言葉から将来に思いを馳せてみましょう。自分のPCでPythonやExcelなどで簡単なプログラムを作成したり、楽しみながら理解を深めましょう。

## テーマ『在宅看護・介護について考える』

まえだ かずこ  
前田 和子 原則毎月土曜日9時30分～



**概要:** 地域包括ケアシステムが推進されている今、従来の病者中心ではなく、人々が地域で生活・療養することを基盤に据えた看護がますます注目されています。住み慣れた地域でその人らしい暮らしを生き切るために必要な介護予防や看護、さらに家族の支援についても考えていきます。

**計画:** このゼミでは、毎回関心のある話題をゼミ生に提供していただき、在宅看護や介護における身近な問題、課題についてゼミ生同士でディスカッションしながら、理解を深めていきたいと思っています。

**メッセージ:** 健康であってもそうでなくとも、生活者とその家族が地域で暮らしていくためのニーズが、多岐にわたることを実感できる場になればと思います。

## テーマ『発達障害について考える』

みずぐち すすむ

水口 進 原則毎月第3日曜日9時30分～



**概要:** 発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、特異的学習症が含まれます。それがわかるのが多くは幼児期です。最近は大人の発達障害が話題になっています。幼児期、児童機期、青年期、それぞれの時期における発達障害のありようについて、調べ、考え、みんなで話し合い、発達障害についての理解を深めましょう。

**計画:** 発達障害について、みなさんが今持っている知識を知り、みなさんに調べてほしいテーマを与えます。調べたことを報告してもらい、それに対して私が事例をまじえながら解説を加えていきます。皆さんとの討論を大事にします。また自閉症児を兄弟にもつ方のために書かれた本(英文)を講読する時間ももちたいと考えています。

**メッセージ:** 発達障害について簡単に書かれた本(新書版)がたくさんでいますので、数冊読んでみるようにしてください。しかしその知識を深めるには論文を読む必要があります。論文の探し方についてもこのゼミで学んでいきましょう。

**毎月ゼミの日程** は茨城学習センターの**ホームページ**に掲載しております。

日程は変更となる場合がありますのでご注意ください。

\* 茨城学習センターホームページ <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ibaraki/>

\* ゼミ申込に関するお問合せ先 : 029-228-0683 (放送大学茨城学習センター)

